台	"本高等	門学校	開講年度 令和06年度 (2	2024年度)	授業科目	 基礎製図I				
		אויננונ	ス十〇〇円では ス十一年世間は	_~~ · ¬ <i>i</i> × <i>j</i>		<u></u>				
科目番号		0011		科目区分	専門 / 必修	2				
授業形態		演習		単位の種別と単位数	履修単位:					
開設学科			 ☆デザイン工学科	対象学年	立致 復修年位: 1 1					
開設期		前期	Aフ フ フ 土 J 17	週時間数	2					
<u>/// 設////</u> 教科書/教		1337 13	版・初めての建築製図(学芸出版社)、	1						
担当教員		森山学	IN INO CONCRETE () ABINETY							
<u></u>		7///								
1. 製図 2. 図面 3. 平面 4. 木造	用具を適切 の種類、製 図、断面図 の特徴、構	図規約、製図 、立面図の記	F書きにより丁寧に作図できる。 図記号を覚え、活用できる。 己載内容を正確に描くことができる。 こ、木造の図面を作図できる。							
ルーブ!	リック			T		T				
			理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベル		未到達レベルの目安				
評価項目	1		製図用具を適切に使用し、手書きにより丁寧に作図できる。	製図用具を使用し、 作図できる。	手書きにより	製図用具を使用した手書きの作図				
評価項目	2		図面の種類、製図規約、製図記号 を覚え、活用できる。	図面の種類、製図規 を覚えることができ	 約、製図記号 ろ	図面の種類、製図規約、製図記号を覚えることができない。				
評価項目	3		平面図、断面図、立面図の記載内容を正確に描くことができる。	平面図、断面図、立容をおおよそ描くこ	面図の記載内	平面図、断面図、立面図の記載内 容に対する理解が不足し、描くこ とができない。				
評価項目	4		木造の特徴、構造を理解して、木 造の図面を作図できる。	木造の図面を作図で	 きる。	木造の特徴、構造を理解できず、 木造の図面を作図できない。				
学科の	到達月標」	項目との 関		1		,				
	育到達度目									
<u> </u>		=								
概要	Δ 	5年間	の設計科目の導入科目である。設計へに には①図面の種類・役割、製図用具の使			 識と技術の基礎を習得する。 2号、②木造住宅の仕組みと図面模				
注意点		・必・こ・6・う〇(・(・・・・) 演要理と締点実。自事事配1次事習が解が切満際(学前前後布回回例	立体的な発想や表現を練習するチャレンジ課題を出す。 入学時のやる気をより高めていける授業を行います。一緒に良い授業を作りましょう。 演習科目を通じて、自分の癖(遅いけど丁寧、早いけど雑など)を知りましょう。その癖に応じてどんな取組み方が (要かを自分で考えましょう。 理解できないとか、頭で考えてばかりで手が動かせないというときは、早めに相談してください。それを乗り越えることが大事です。 締切を守ることがとても大切です。プレッシャーに弱くてもプレッシャーに少しずつ慣れましょう。締切を過ぎると 0点満点での評価になります。 実際の建物や建築系雑誌などで、いい事例を見ましょう。このデザインを今度使ってみようと、考えながら見ましょう。 0自学について (事前学習) 事前配布する資料(webclass)に目を通す。 (事後学習) 配布資料を使い要点まとめ。単元ごとに配布する確認クイズ(webclass)で理解度をチェック。 1回のテストにあわせて、深く理解する学習を。 次回の授業までに模写の遅れを取り戻しておく。 事例紹介の動画を配布する場合があるので、その場合は視聴。 2回のチャレンジ課題もがんばりましょう。							
授業の原	属性・履信	多上の区分								
	<u> ディブラー</u> ティブラーコ		□ ICT 利用	□ 遠隔授業対応		□ 実務経験のある教員による授業				
	. , , , , -		1	1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 -						
	<u></u> 画									
1 7 	_	週	授業内容	调力	 ごとの到達目標					
1又未可1		1~-	1,000 111	I VEIC						
汉未可1		1调	ガイダンス 図面の種類と公割	छान						
<u> </u>		1週 2週	ガイダンス、図面の種類と役割 製図規約・製図記号 木造軸組み工法の仕組みと図面	規約	の種類・役割 の表題欄、線					
汉未 11			製図規約・製図記号 木造軸組み工法の仕組みと図面	規約配置	の種類・役割 の (表題欄、線 量) を理解し、					
<u> </u>	1stQ	2週	製図規約・製図記号	規約 配置 製図 木道	の種類・役割 の(表題欄、線 質)を理解し、 図用具の使用方 極の平面図の記	種、文字、縮尺、寸法、製図記号、 実践できる。 法を理解、作図できる。				
	1stQ	2週 3週 4週	製図規約・製図記号 木造軸組み工法の仕組みと図面 製図用具の使用方法と作図練習	規約 配置 製図 木道	面の種類・役割 可(表題欄、線 間)を理解し、 図用具の使用方 個の平面図の記 5。製図用具を	種、文字、縮尺、寸法、製図記号、 実践できる。 法を理解、作図できる。 載内容を理解し正確に描くことがで				
	1stQ	2週 3週 4週 5週	製図規約・製図記号 木造軸組み工法の仕組みと図面 製図用具の使用方法と作図練習 配置図・平面図のポイント、模写 平面図の模写	規 配 製 を 本 さ る 同	回の種類・役割 回(表題欄、線 間)を理解し、 図用具の使用方 個の平面図の記 ののででである。 ののでである。 ののでである。 のでである。 のでである。 のでである。 のでである。 のでである。 のでである。 のでである。 のではいる。 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、	種、文字、縮尺、寸法、製図記号、 実践できる。 法を理解、作図できる。 載内容を理解し正確に描くことがで				
	1stQ	2週 3週 4週 5週 6週	製図規約・製図記号 木造軸組み工法の仕組みと図面 製図用具の使用方法と作図練習 配置図・平面図のポイント、模写 平面図の模写 平面図の模写	規 配 製 本 さ 。 同」	回の種類・役割 回(表題欄、線 置)を理解し、 四用具の使用方 の平面図の記 る。製図用具を こ	種、文字、縮尺、寸法、製図記号、 実践できる。 法を理解、作図できる。 載内容を理解し正確に描くことがで				
	1stQ	2週 3週 4週 5週 6週 7週	製図規約・製図記号 木造軸組み工法の仕組みと図面 製図用具の使用方法と作図練習 配置図・平面図のポイント、模写 平面図の模写 平面図の模写 平面図の模写、自己点検、事例	規 配 製 を 本 さ る 同	回の種類・役割 回(表題欄、線 置)を理解し、 四用具の使用方 の平面図の記 る。製図用具を こ	種、文字、縮尺、寸法、製図記号、 実践できる。 法を理解、作図できる。 載内容を理解し正確に描くことがで				
前期	1stQ	2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週	製図規約・製図記号 木造軸組み工法の仕組みと図面 製図用具の使用方法と作図練習 配置図・平面図のポイント、模写 平面図の模写 平面図の模写	規 配 製 取 木 さ う 同 」 同 」	回の種類・役割 可(表題欄、線 質)を理解し、 図用具の使用方 色の平面図の記 ら。製図用具を こ こ もの断面図の記	種、文字、縮尺、寸法、製図記号、 実践できる。 法を理解、作図できる。 載内容を理解し正確に描くことがで 適切に使用し丁寧に作図できる。 載内容を理解し正確に描くことがで				
	1stQ 2ndQ	2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週	製図規約・製図記号 木造軸組み工法の仕組みと図面 製図用具の使用方法と作図練習 配置図・平面図のポイント、模写 平面図の模写 平面図の模写 平面図の模写、自己点検、事例 (前期中間試験) 断面図のポイント、模写	規 配 製 本 は き 同 。 同 。 本 だ き き る る る る る る る る る る る る る る る る る	回の種類・役割 可(表題欄、線 質)を理解し、 四用具の使用方 の平面図の記 5。製図用具を こ こ こ こ こ の 断面図の記 る もの の の の の の の の の の の の の の	種、文字、縮尺、寸法、製図記号、 実践できる。 法を理解、作図できる。 載内容を理解し正確に描くことがで				
		2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週	製図規約・製図記号 木造軸組み工法の仕組みと図面 製図用具の使用方法と作図練習 配置図・平面図のポイント、模写 平面図の模写 平面図の模写 平面図の模写、自己点検、事例 (前期中間試験)	規 配 製 取 木 さ う 同 」 同 」	面の種類・役割 可(表題欄、線 質)を理解し、 図用具の使用方 の平面図の記 5。製図用具を こ の の の の の の の の の の の の の	種、文字、縮尺、寸法、製図記号、 実践できる。 法を理解、作図できる。 載内容を理解し正確に描くことがで 適切に使用し丁寧に作図できる。 載内容を理解し正確に描くことがで				

	12ù		週	立面区	図のポイント、	模写 木造の立面図の記載内容を理解し きる。製図用具を適切に使用し			解し正確に 1し丁寧に作	描くことがで 図できる。		
			週	立面区	 図の模写			同上				
	15週 (立面区	 図の模写	同上						
				(前期定期試験:実施しない)								
				自己点検・相互点検、事例、面積計算、添景の練習				木造の図面を理解する。面積計算の方法を理解する。 添景を描くことができる。				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標												
分類			分野		学習内容 学習内容の到達目標				到達レベル	/ 授業週		
			建設系分野		製図	線種、文字、図面内				3	前2	
専門的能力	分野別の専 門工学		事 建築系分野		設計・製図	製図用具の特性を理解し、線の描き分け(3種類程度)ができる。				3	前3,前4,前 5,前6,前 7,前9,前 10,前11,前 12,前13,前 14	
			连呆不刀封	JJ ±ľ	改訂・表色	建築の各種図面と図面の尺度・縮尺について理解し、図面の作図に反映できる。			3	前1,前2,前 4,前9,前12		
						建築製図通則に基づき、製図記号を判別、適用できる。			3	前2		
				立体的な発想とその表現(例えば、正投象、単面投象、透視投象 などを用い)ができる。				3				
評価割合												
	試	試験		模	—————————————————————————————————————	チャレンジ課題				合	計	
総合評価割合	30	30				10	0	0	0	10	00	
基礎的能力	0	0		0		0	0	0	0	0	_	
専門的能力	30	30		60		10	0	0	0	10	00	
分野横断的能	七力 0	0		0		0	0	0	0	0		